

# 一歩

## 思い

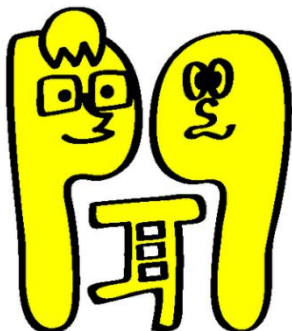
3年生のみなさんには「思い」をもって行動してほしいと月曜日の今年度最初の学年集会で話しました。その翌日の全校朝会で、島田先生がルール・きまりについて話をしてくださいました。自分の行動の裏付けとなるものがあるかないかで、行動の内容や質も全然違ってきます。その裏付けになる一つが「思い」です。

「なぜ、それをするのか」「どうして一生懸命に取り組むのか」など、その活動に取り組む理由があり納得できるとがんばれます。理由もなくがんばりなさいとだけ言われても、納得できなかったり、反抗したくなったりするものです。保護者が子どもに「やりなさい」「やったほうがいいよ」と話しても、子どもがやらないのも、なぜやらなければいけないかその理由が理解できないことが多いからです。

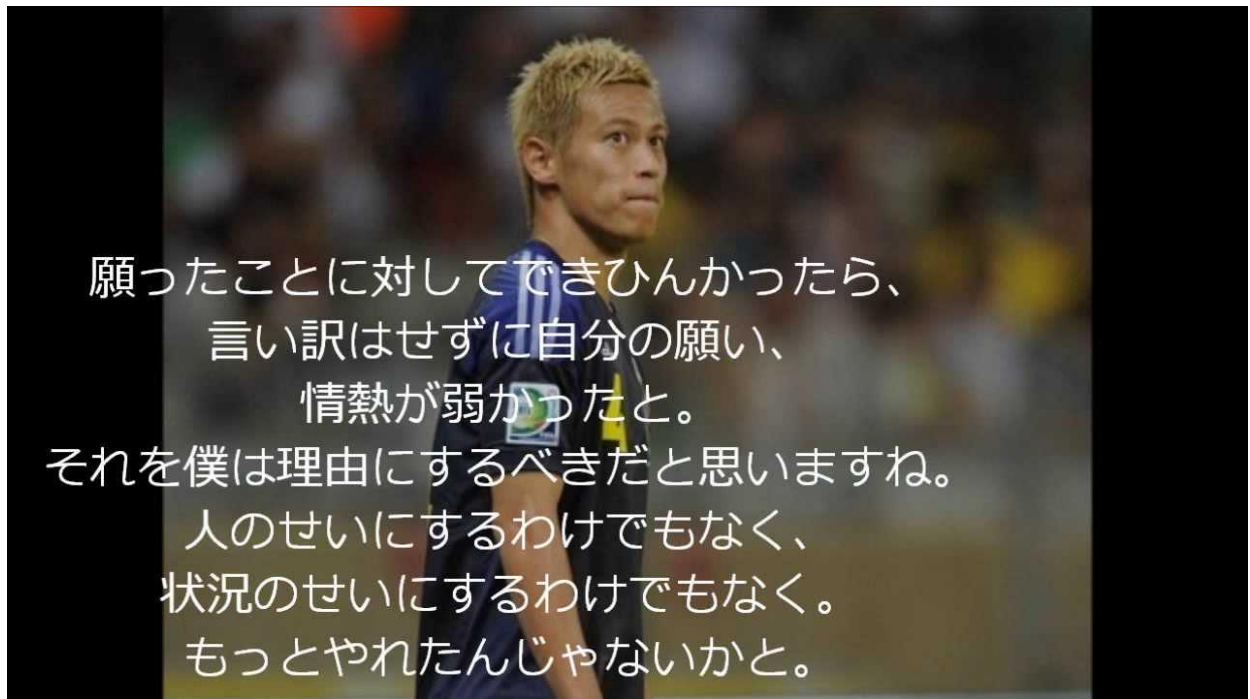
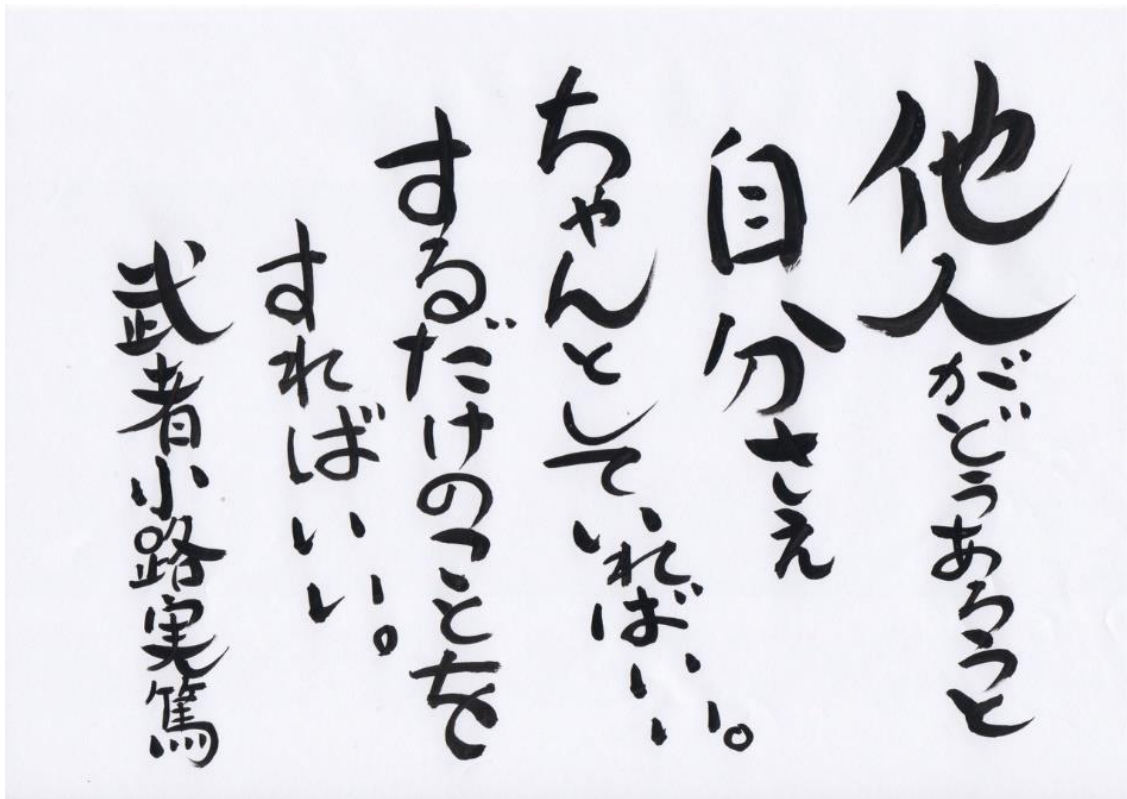


みなさんには「まずやってみよう」と1年生の時から話してきました。どうしても思いながらも、とりあえずでも「やってみた」人は、その後に気づくことがあります。3年生のみなさんの中には、「大空祭(体育祭)をがんばりたい」と思っている生徒はたくさんいることでしょう。また、今年の学級で「合唱コンクールで素晴らしいクラス合唱を創りたい」、卒業式で「最高の合唱をしたい」と思っている生徒もいることでしょう。「やってみる」ことで気づきがあります。先輩と一緒に取り組んだ大空祭が楽しかった、感動した。合唱コンクールでうまく歌えてうれしかった、気持ちよかった。卒業生合唱を聞いて感動した、自分もあの中に入りたい。このような感情は頭で考えてわかることではなく、経験で感じ取ることです。

これまで先生方やお家の方が、みなさんに話してくれたりしたことに対して素直に取り組んできた人は、今そのとき取り組んだ経験から生まれた財産がたくさんできているのです。その感情が、これからあなた方が活動に取り組む原動力になっていきます。3年生という最上級生は、1・2年生をリードするリーダー学年です。「思い」があるリーダーの率先力や指導力は、一緒に活動する人たちにとって説得力があり、がんばろうという気持ちにさせます。みなさんには、そういう「思い」という気持ちの備わった人たちになってほしいと願っています。



もしこれまで他人の話などに耳をあまり貸さないで聞き流していたりした人も、今回の一歩を読み納得したら、今から何事にも「まずやってみよう」でいいのです。いや3年生ですから、今まで以上に「がむしゃらにやってみましょう」。何事も、気づいたときから始めればいいのです。



## 授業開始

昨日から教科の授業が始まりました。昨日は1時間、今日は2時間、教科の授業がありました。

忘れ物はしていませんか？今日のオジサンの授業では、残念ながら忘れ物をした人がいました。技術など技能教科では、教科書やワークなどの副教材を3年間使います。うっかり春休み中に奥深くに片付けたなどで持ってこれなかったのでしょうか。いずれの教科でも忘れ物は、関心・意欲が低さとして評価されます。がんばりたいと思っているだけではいけません。学習用具の準備を忘れずにおこない、意欲の高さを示せるようにならなければいけません。

